





審査結果報告書

平成 29 年 9 月 7 日

主査	氏名	北里 英郎	
副査	氏名	花 木 香 明	
副査	氏名	神 谷 和 彦	
副査	氏名	柳 田 智 彦	

1. 申請者氏名 : 子島 良平

2. 論文テーマ : 眼科周術期のレボフロキサシン点眼液の使用期間が正常結膜囊常在菌に及ぼす影響

3. 論文審査結果 :

申請者は、標記題目に関して、博士学位審査の発表を行った。本研究は、白内障術後眼内炎の予防を目的とした、1.5%レボフロキサシン(LVFX)の点眼による長期投与が、結膜囊常在細菌叢に与える影響を検討した。その結果、術後のLVFX点眼期間が1週間群、1か月群を比較すると、*S.epidermidis* (表皮ブドウ球菌)に関して点眼終了後3か月に、1か月群のMICが有意に上昇し、術後一週間、並びに点眼終了時に感受性が有意に低下していた。このことから、申請者は、周術期抗菌点眼薬の投与期間の違いが、点眼後の結膜囊常在菌叢から検出される*S.eidermidis*のMIC,感受性に変化を与えることを見出し、高濃度抗菌点眼薬の長期投与が耐性菌を誘発する危険性を警鐘した。申請者は、副査、主査からの質疑応答に的確に対応し、本研究に関して高い知識、洞察力を持ち合わせていることが確認された。

以上のことと、提出された学術主・副論文の内容から、申請者である子島 良平先生の研究が、博士学位に相応しいと全員一致で判断した。